



2024-25年度 上田ロータリークラブ

- 会長 金子 良夫 ● 副会長 柳澤 雄次郎・三井 英和
- 幹事 酒巻 弘 ● 会報委員長 小林 浩太郎

第2955回例会 (令和6年8月5日)



ホームページQR

[慶祝]

お誕生日 4名

- 木本 昂さん
- 土屋 勝浩さん
- 関 啓治さん
- 柳澤雄次郎さん



結婚記念月 2名

- 高橋 鼓さん
- 柳澤雄次郎さん



事業創立記念月 4名

- 木本 昂さん
- 成澤 厚さん
- 高橋 鼓さん
- 宮川 泰さん



皆出席 1名

- 藤森 幸路さん (1年)

[米山奨学生 金 セハさんへ奨学金の授与]

米山奨学生
金 セハさん



[会長挨拶]

金子 良夫 会長

暑い日が続くとともに、毎晩、パリオリンピック熱戦が続いています。

このオリンピックでは気になる点があります。「オフサイド?つま先1mm出てたんか」「あれオフサイド?」「今日の主審スペインひいきすぎる」。さらに、柔道、バスケットと審判の判定が物議をかもしている大会です。日本人選手のメダル獲得に一喜一憂したり、誤審のたびに憤りを感じたりしています。そして、明日は8月6日、79年前広島に原爆が落とされた日です。日本人の皆が心を痛める日です。今のこの時期ほど、私たち日本人、個人個人の国家観、愛国心が高まるときはほかにはないと思います。

さて、今日はロータリーでの国旗掲揚と君が代斉唱についてお話しします。

国旗掲揚について、外務省の国際プロトコルでは、国旗は向かって右が上位、つまり国旗の位置です。日の丸を単独で三脚台に取り付ける場合は、旗頭に玉ぎよくを付けます。この玉は八咫鳥やたがらすを表します。

八咫鳥やたがらすは太陽の化身とされ三本の足があります。この三本の足はそれぞれ天・地・人を顕わすと言われていいます。サッカー協会のマークに八咫鳥やたがらすが使われているのは、神武天皇の故事に習い、よくボールをゴールに導くようにとの願いが込められていると考えられます。

1931年には満州事変が起こります。満洲国を独立させるなど全面的対中戦争への道へと進んでいて、1933年には

国際連盟脱退の事態となりました。この状況の中で1933年、京都大学の滝川事件が起きました。これが日本における軍部や右翼などによる思想弾圧表面化の発端と言われています。ロータリーに対しても同様問題が同時期に多発したと見られ、京都ではこの年の9月18日、右翼政治集団の日本国家社会党の京都支部結成式があり、ロータリー排撃の決議をされました。

当時の京都クラブの週報には「国家社会党からロータリーはフリーメーソンの外郭団体だと決めつけた文書が送られて来た」とあり、続く週報には「国家社会党京都支部長との会見で毎月一回一定の例会で国歌(君が代)を合唱をすることでこの問題は解決した。」とあったそうです。そして1933年12月6日週報には「例会の初めに“君が代”を合唱した。今後、毎月第一例会に“君が代”を唄うこととなった」とありました。

ロータリーのすごいところは、どのクラブも会報(週報)で記録を残しているところです。会報を見れば、クラブの歴史、伝統がわかるのです。

例会に国旗の掲揚がなされるようになったのは、記録ではっきりしているのは、1935年の京都地区大会のとき「このような時節だから、ロータリーの旗とともに日の丸を掲げなければいけないと思うと提案されたそうです。これが記録に残る例会場に日の丸を掲げる最初であります。全国的な圧力のもと、例会における国旗掲揚と国歌斉唱は全国的に広まったと考えられます。今日、大多数のロータリークラブは、例会場に国旗を掲げ、月初めには国歌を歌っています。国際ロータリーにも国歌、国旗についての規則はありません。当クラブも慣習、慣例として国旗掲揚と国歌斉唱を行っているわけです。国旗掲揚と“君が代”斉唱は、国家観(国に対する思想)の問題ととらわれがちですが、ロータリーでは、クラブを弾圧から守るために、日の丸を掲げ、“君が代”を歌い出したというわけです。1945年3月、日本のクラブは国際ロータリーへの復帰を果たしましたが、それ以来、国旗掲揚と“君が代”斉唱は、多くのクラブで継承されている戦前からの慣例です。

今日は、上田花火大会です。雨が降らずに多くの市民の皆様が花火を楽しめるよう願っています。

〔就任挨拶〕

● 関 勇治 ロータリー財団委員長

ロータリー財団委員長の関でございます。私自身ロータリー財団に関する理解がまだまだ浅いところがございます。副委員長を務めていただきます布施先生、様々な機会でお会いする金子会長、そして前任者の窪田会長エレクトにご指導いただきながら、まずは11月末に予定されている担当例会までに少しずつ理解を深めて参りたいと考えております。



また、現在私が理解しているところではロータリー財団に対する寄付が当クラブにおいては1,000ドル×3=3,000ドルと定められているようでございます。円安の昨今以前に比べると厳しいノルマのように思いますが皆様のご理解とご協力をいただきながら目標を達成して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

〔「ロータリーの友」紹介〕

雑誌委員会 湯田 勝己 副委員長

■横書き 7ページ

会員増強・新クラブ結成推進月間/ 新しいクラブ 新しいスタイル

会員増強に至った事例が紹介されています。



■12ページ

新しいスタイルのヒント/新会員の本音を探る

『入会5年未満の会員を対象に会員満足度調査を実施したところ、「奉仕活動が少ない」「貴重な時間を使った割りに内容が薄い」「例会が本業と重なって出席できない」「会費や寄付が負担」との回答が見受けられたとの事です。

これからは時代に即した例会を行わなければ、会員増強や維持がますます困難になると思われます。』

と書かれています。当クラブでも満足度調査をして会員増強のヒントを見つけ出すのも良い手段の一つかなと思いました。

■13ページ

多様な会員種別を設ける

東京麹町RCの地域コーディネーター補佐の若林さんの記事です。

現在、ロータリーには正会員と名誉会員の2つしか

会員種別はありませんがクラブ独自の会員種別を作ってみよう！

1. シニア会員で生涯ロータリアン

まず、①シニア会員 「仕事をリタイアしたので満額の会費負担が厳しい」「家族の反対がある」という方はいませんか？あるクラブでは年会費が40万円のところ、シニア会員に限っては10万円としました。例会は月1回は無料、2回目以降はビジターフィーを支払って参加します。

シニア会員となる条件は3つ

①84歳以上

②ロータリー歴20年以上

③クラブ理事会での審査

①と②は私が仮に設定した数字なので、実際は各クラブに合わせた設定で構いません。難しいのは③です。クラブとして40万円の会費を10万円にしたわけですから、運営にとっては痛手です。資産家の方がシニア会員になりたいとおっしゃったことがあります。これは理事会で却下(笑)。

ここで対象となるのは「棺桶に入るまでロータリアンでいたい」「私が死んだら棺桶にバッジを入れてくれ」というほどロータリーに一生懸命な方で、かつ金銭的な理由などでそれがかなわない方です。そういう方は会費が下がることで、生涯ロータリアンを貫ける可能性が大いにある。だからそれをフォローしましょう、という会員種別がシニア会員となります。

2. 家族会員で自クラブとのお縁を

次に②家族会員です。ご子息・ご息女(ごそくじよ)が他団体の主力になる前に、あなたとクラブとのお縁を深めよう、という目的の会員種別です。一概にはいえませんが、お父さま・お母さまがロータリアンで、まだお元気なうちにご家族を自クラブへ、と望まれる方も多いようです。

こちらの導入例は、入会金・会費半額など。例会については、親子で一緒に出席出来るケースもありますが、家族会員は会費が半額ですから、運営としては厳しい、そこで、例会にはどちらか一人が出席できるという例や、家族会員が月に出席できる回数を決めている例もあります。

3. ウェブ会員が秘める可能性

最後に③ウェブ会員です。例会には原則、オンライン参加となるので、食費がかからない分、会費を減額できます。コロナ禍以降、ウェブ会員を取り入れたクラブも多いのではないのでしょうか？ウェブ会員を迎える例として、入会金・会費を減額して、対面参加は有料というものがあります。中には年次総会や協議会、ガバナー公式訪問や創立記念例会など、あらかじめ対面参加の日を決めているクラブもあるようです。

ウェブ会員は新規だけでなく、既存会員への応用もできます。例えば、会員が転勤や海外移住などでその地域を離れる場合、ウェブ会員に切り替える事で、休会や退会をすることなく元のクラブに在籍でき、クラブ会員とずっとつながることができるわけです。

いろいろ話してきましたが、人頭分担金さえ支払えば、クラブはさまざまな会員種別を作ることができます。結局はアイデア次第。クラブ独自の会員種別についてもっとしゃれた提案ができるわけです。

と書かれています。このような考え方もあるんだなと思いました。

■14ページ

クラブの在り方の見直しと効果的な懇親会

■15ページ

ITを活用としたコミュニケーション

アプリを開発して名簿をスマホで見れるようにしました。

■22ページ

5月25～29日にかけて行われましたシンガポール国際大会について書かれています。

1万4,660人の参加者中日本人が2,516人と、6人に1人が日本人で最多登録と書かれています。一読お願いします。

■30ページ

ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

毎年8月～9月号に『よねやまだより』で基礎知識を掲載し米山の始まりから特長、寄付の用途といった基本的な情報を伝えています。新会員からベテラン会員まで大変好評をいただいています。今月は奨学金制度について書かれていますのでご一読下さい。

当クラブの米山奨学生の金セハさんは1. 学部課程の奨学金で月額10万円をクラブからお出ししています。

■54ページ カルガリー大会について書かれています。来年の6月21日から25日に開催されます。夏のロデオが有名らしいです。

[幹事報告]

酒巻 弘 幹事

1. R I the rotarian 8月



2. 地区事務所

米山奨学地区セミナー開催のご案内

ロータリー財団地区セミナー開催のご案内

折井年度ガバナー月信最終号電子ブックURLのお知らせ

3. 戸倉上山田RC

第34回RYLA 報告書送付のご案内

[ニコニコBOX]

田中 克明 委員長

飯島幸宏さん 石井懋人さん 小熊直人さん 織英子さん 金子良夫さん 木本昂さん 桑原茂実さん 小林浩太郎さん 小林秀茂さん 小松佳樹さん 小山宏幸さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 春原宏紀さん 関啓治さん 関勇治さん 田中克明さん 土屋勝浩さん 土屋陽一さん 成澤厚さん 布施修一郎さん 保科茂久さん 三井英和さん 宮川泰さん 柳澤雄次郎さん



本日喜投額 25名 ￥ 57,000
累計 ￥267,500

[例会の記録]

司会：保科 茂久 会場・出席委員

斉唱：国家・ロータリーソング

- 慶祝 ● 米山奨学生 金セハさんへ奨学金の授与
- 会長挨拶 ● 幹事報告
- 就任挨拶 ロータリー財団 関 勇治さん
- 「ロータリーの友」紹介

[ラッキー賞]

- 飯島 幸宏さん(三井 英和さんより 上田の清酒セット)
- 小松 佳樹さん(柳澤 雄次郎さんより とらやのようかん)
- 小熊 直人さん(柳澤 雄次郎さんより とらやのようかん)
- 春原 宏紀さん(織 英子さんより レモンチーズケーキ)
- 田中 克明さん(小幡 晃大さんより 稲庭うどん)
- 小林 秀茂さん(金子 良夫さんより 秋田のすいか)
- 小林浩太郎さん(島田 甲子雄さんより 京みやげ佃煮)
- 織 英子さん(田邊 利江子さんより 花火セット)



[出席報告]

保科 茂久 委員長



	本日	前々回 (7/22)
会員数	51	51
出席ベース	50	50
出席者数	38 <small>コロナ欠席1</small>	43
出席免除(b) ()内は出席者数	4(3)	4(3)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内はMake up後		0(43) <small>コロナ欠席1</small>
出席率	78.00	88.00

[次回例会予定]

8月26日(月) ガバナー補佐事前訪問

(8月19日発行)

【会報担当】 小林 浩太郎 会報委員長